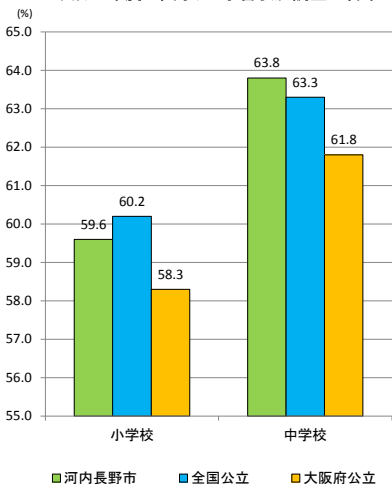


平成30年度 全国学力・学習状況調査結果考察【概要版】

河内長野市立小中学校の平均正答率について

小学校：対大阪府平均+1.3 対全国平均-0.6
 中学校：対大阪府平均+2.0 対全国平均+0.5

平成30年度全国学力・学習状況調査正答率



小学校正答率	河内長野	対府差	対国差	府公立	全国公立
国語A	69.5	1.4	-1.2	68.1	70.7
国語B	52.1	-0.1	-2.6	52.2	54.7
算数A	64.2	0.8	0.7	63.4	63.5
算数B	52.4	1.8	0.9	50.6	51.5
理科	60.0	2.6	-0.4	57.4	60.4
平均正答率	59.6	1.3	-0.6	58.3	60.2

中学校正答率	河内長野	対府差	対国差	府公立	全国公立
国語A	76.0	1.3	-0.1	74.7	76.1
国語B	61.3	1.9	0.1	59.4	61.2
数学A	67.8	2.6	1.7	65.2	66.1
数学B	47.7	2	0.8	45.7	46.9
理科	66.1	2.1	0	64.0	66.1
平均正答率	63.8	2	0.5	61.8	63.3

青字：全国平均を上回っている
 小学校算数A、小学校算数B、
 中学校国語B、中学校数学A、中学校数学B、中学校全領域
 赤字：大阪府平均を下回っている
 小学校国語B

<本市の取組み>

【これまでの成果】
 自分で考え、自分で解決しようとする力を伸ばす授業
 仲間との話し合う活動を大切にした授業
 学校・家庭・地域が連携した児童生徒の力を伸ばす環境

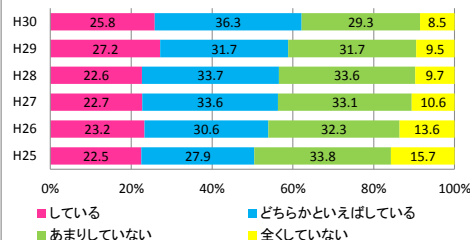
これまでの成果を大切に
 小中一貫した9年間の全教科で
 「主体的・対話的で深い学びのある授業」の実現

一人一人の児童生徒の課題を踏まえた
 学習者主体の授業

- 1.既習漢字のインプットとアウトプットを繰り返させる。
- 2.児童生徒の興味・関心・意欲を引き出す課題設定をする。
- 3.複数の情報を関連付けて答えを導き出す課題に取り組みさせる。
- 4.目的に応じて自分の考えを書く場面を設定する。
- 5.各教科ごとの見方や考え方をういて説明する機会を設ける。
- 6.学習したことと自分が考えたことを関連付けて振り返りをする。

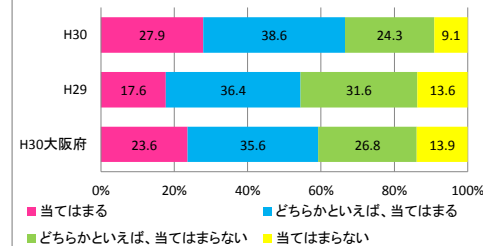
<家庭・地域に関する児童・生徒質問事項>

(小学校)家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



家で、自分で計画を立てて勉強している割合が、平成25年度から平成30年度の6年間で改善傾向が見られ、学校だけでなく、家庭での学習習慣が身に付いている児童が増えていることが分かる。

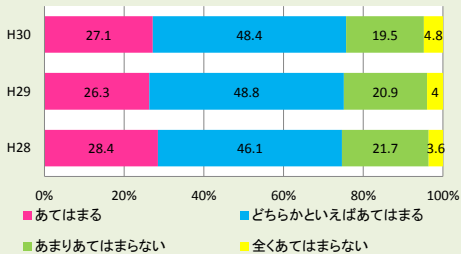
(中学校)1, 2年生のときに受けた授業や課外授業で地域の事を調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。



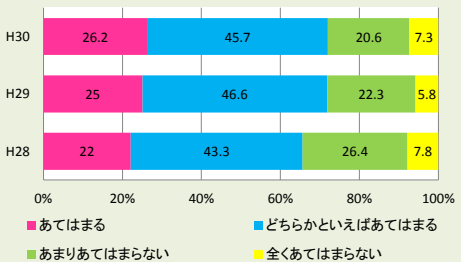
平成29年度より改善傾向が見られる。大阪府と比較しても割合が高く、河内長野市では、中学生と地域の大人との交流が行われ、地域全体で生徒を育てていく意識が高いことが分かる。

<「主体的・対話的で深い学び」についての児童・生徒質問事項経年変化>

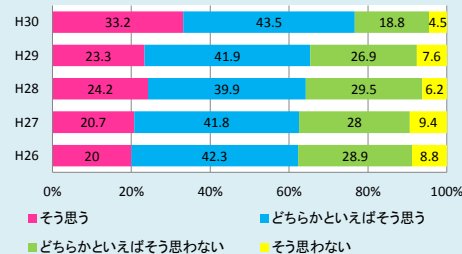
(小学校「主体的な学び」に関する質問)
 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



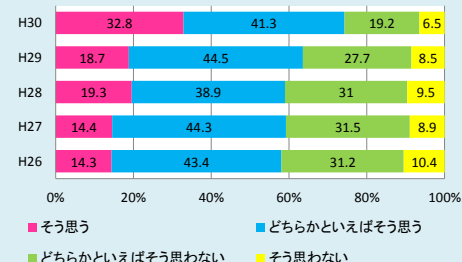
(中学校「主体的な学び」に関する質問)
 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



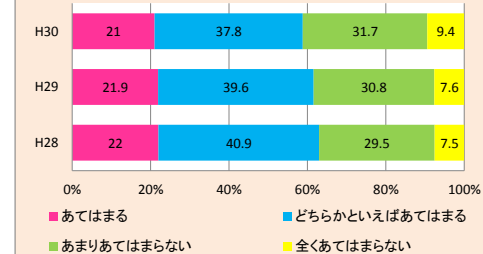
(小学校「対話的な学び」に関する質問)
 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



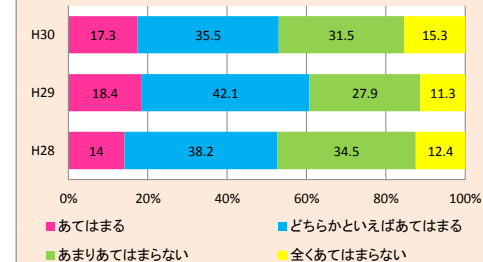
(中学校「対話的な学び」に関する質問)
 生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



(小学校「深い学び」に関する質問)
 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。



(中学校「深い学び」に関する質問)
 1, 2年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。



「主体的」な学習ができているのかを質問する項目では、平成28年からの3年間で、小学校ではあまり変化が見られないものの、中学校では少しずつ改善傾向が見られる。

「対話的」な学習ができているのかを質問する項目では、平成26年からの5年間で、小学校と中学校で共に改善傾向が見られ、対話的な授業展開を積極的に取り入れていることが考えられる。

「深い学び」の学習ができているのかを質問する項目では、昨年度と比較すると、小学校と中学校で共に改善傾向が見られず、目的に応じて複数の情報を関連付ける学習を進めていく必要がある。